

## 取組概要

## ①プログラムの目的

医師は診療において「科学的根拠に基づく医療（Evidence Based Medicine, EBM）」を重視しており、絶えず更新される医療データを活用する能力が不可欠である。さらに、AIは既に臨床現場に浸透しつつあり、新しい技術に柔軟に対応できる力が求められている。これらの能力を効果的に習得するために、本プログラムが策定された。

## ②身に付けられる能力

本プログラムでは、1・2年次を通じて、医療に関わる情報を効果的に活用するためのスキル、統計的思考力、AI活用実践力を段階的に修得する。1年次では、情報収集・整理・分析・発信の実践を通じて、クラウド活用、スクリプトプログラミング、AIの基礎知識と応用例を学び、医療データへの活用の素地を形成する。2年次では、記述統計・推測統計の基本を実データを用いて学修し、統計的手法によるデータ解釈力を養う。これにより、臨床および研究に必要な情報・AIテクノロジーを活用する能力を体系的に身に付ける。

## ③開講されている科目の構成（科目名・単位数）

授業科目	単位数	リテラシーレベル	応用基礎レベル モデルカリキュラム			
			I. データ表現とアルゴリズム	II. AI・データサイエンス基礎		III. AI・データサイエンス実践
			1-6.数学基礎 1-7.アルゴリズム 2-2.データ表現 2-7.プログラミング基礎	1-1.データ駆動型社会とデータサイエンス 1-2.分析設計 2-1.ビッグデータとデータエンジニアリング	3-1.AIの歴史と応用分野 3-2.AIと社会 3-3.機械学習の基礎と展望 3-4.深層学習の基礎と展望 3-5.生成AIの基礎と展望 3-10.AIの構築・運用	「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践
AI・データサイエンスと医療（1年次）	1	✓	✓	✓	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パターン認識、特徴抽出、識別</li> <li>・画像認識</li> <li>・認識技術の活用事例</li> <li>・AIの学習と推論、評価</li> <li>・AIの開発環境と実行環境</li> <li>・AIの社会実装</li> </ul>
AI・データサイエンスと医療（2年次）	1		✓	✓		<ul style="list-style-type: none"> <li>・データサイエンス活用事例</li> <li>・データ分析の進め方、仮説検証サイクル</li> <li>・クレンジング処理</li> <li>・アルゴリズムの表現</li> </ul>

## ④修了要件：必須科目2科目（2単位）を取得すること。